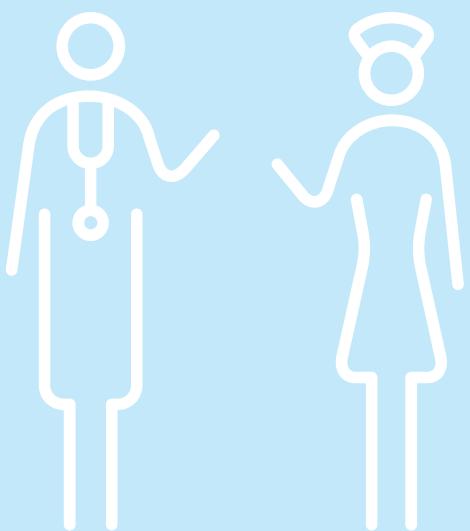


回復期リハビリテーション病棟のご案内



いきるを支える

基本理念

ミッション・・・「誰からも選ばれ、信頼される病院を目指す」

経営理念・・・HITOを中心に考え、社会に貢献する

行動規範・・・Human 1st.(患者様第一)

具体的アクション

Humanity 患者さまを家族のように想い、温かく接します。

Interaction 患者さまとの対話を尊重し、相互理解に努めます。

Trust 技術と知識の研鑽に努め、信頼される医療を目指します。

Openness 心を開き、患者さまと公平に向き合います。

患者さんの権利

- 病気の種類に関係なく、すべての方が平等に医療を受けることができます。
- 入院中は、医療の目的、内容、その効果と危険性および回復の見通しについて、十分な説明を受けることができます。
- プライバシーは守られます。
- 健康を維持するための教育やサービスを受けることができます。
- 治療方法や処置・検査などについて、選択・拒否することができます。
- セカンドオピニオン(別の医師の意見)を聞く権利があります。

患者さんと医療者のパートナーシップ

1. インフォームドコンセントについて

インフォームドコンセントは、「医師の十分な説明を受けた上で、患者さん自身が最終的な診療方針を選択できる」という、患者さんの「知る権利」「自己決定権」を保証する考え方です。

- 患者さんには、医師から診療情報の積極的な提示と分かりやすい説明を受け、病気と診療内容について十分理解し、同意した上で適切な治療を選択できる権利があります。

- 同意できない場合には、医療を受けることを拒否することもできます。

これらインフォームドコンセントの理念は、医師と患者さんとの間により良い信頼関係を築き、医療の担い手である医師と医療を受ける患者さんが共同して病気を克服することを目的としています。インフォームドコンセントの理念を患者さん中心の医療に結びつけるためには、患者さんご自身が医療に関心を持ち、積極的に関わることが大切です。診療に対して疑問や不安がございましたら、遠慮なくお尋ねください。

- 医師からの病状説明、検査・処置の内容に関する説明の際には、できる限り看護師等が同席させていただきます。医師に直接聞けなかったことや不安に思うことがありましたら、看護師に遠慮なくお伝え下さい。(全ての場に同席することは叶いませんが、疑問点や不安なことはいつでもご相談ください。)



2. 患者さんの個人情報について

■個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めてまいります。

■基本方針

<個人情報の収集・利用・提供>

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用及び提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

<個人情報の安全策>

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

<個人情報の確認・訂正・利用停止>

当該本人（患者さま）等から内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上適切に対応します。

<個人情報に関する法制・規範の遵守>

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

<教育及び断続的改善>

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

<診療情報の提供・開示>

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

■通常の業務で想定される個人情報の利用目的(1)

患者さま等への医療の提供に必要な利用目的

<当院での利用>

- 1)当院で患者さま等(検診・健診・ドックを含む)に提供する医療
- 2)医療保険事務
- 3)患者さまに係る管理運営業務のうち、
 - ・入退院等の病棟管理
 - ・会計・経理
 - ・質向上・安全確保・医療事故あるいは未然防止等の分析・報告
 - ・患者さま等への医療サービスの向上

■ 通常の業務で想定される個人情報の利用目的(2)

<他の事業者等への情報提供>

- 1)当院が患者さま等に提供する医療のうち、
 - ・他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
 - ・他の医療機関等からの照会への回答
 - ・患者さま等の診療等に当たり、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- 検査業務の委託・その他の業務委託
 - ・医療機器や情報システムに関するデータ処理作業
 - ・ご家族等への病状説明
- 2)医療保険事務のうち
 - ・保険事務の委託
 - ・審査支払機関又は保険者へのレセプトの提出
 - ・審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- 3)事業者等からの委託を受けて健康診断等を行った場合における、事業者等へのその結果の通知
- 4)医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等
- 5)第3者機関への質向上・安全確保・医療事故対応・未然防止のための報告

<ICT を活用した情報共有>

- 1)当院における院内SNSを利用した情報共有
- 2)IHG(石川ヘルスケアグループ)内におけるオンラインでの情報共有
- 3)愛媛大学大学院医学系研究科 地域サテライトセンターと当院との情報共有
- 4)地域の病院・診療所・介護事業所・ケアマネジャー・調剤薬局・行政等との情報共有

■ スタッフのiPhone使用について

医療の質向上及び働き方改革の一環として、iPhoneでの音声通話や業務用SNSの利活用、医療情報の検索・取得、音声入力でのカルテ記載などを実施しております。スタッフが院内でiPhoneを使用している場面を目にすることがあるかと思いますが、患者さんの個人情報やプライバシーに関する情報が、治療に関わるスタッフ以外へ漏出することはございません。また、院内の医療機器等にも影響はございませんのでご安心ください。

スタッフはiPhoneを業務以外の目的で使用せず、電波環境協議会が定める「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」に準拠して使用します。

回復期リハビリテーション病棟とは

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患や骨折などで手術等の治療をされた患者さんで、「緊急性が高い状態は脱したけれど継続してサポートが必要」という方に、集中的なリハビリテーションを行うことで機能回復を目指す病棟です。リハビリ訓練室だけでなく病棟においても様々にリハビリ治療を365日行い、日常生活に必要な動作の獲得や寝たきりの予防など、安心してお家に帰れるためのサポートをいたします。



次のような患者さんが当病棟での
リハビリの対象となります。

対象となる疾患・状態

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態

高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷

大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折または二肢以上の多発骨折の発症後または手術後の状態

外科手術または肺炎等の治療時の安静により発用症候群を有しており、手術後または発症後の状態

大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態

股関節または膝関節の置換術後の状態

HITO 病院

回復期リハビリテーション病棟 のケアサービス

1. 食事の際はできる限り食堂へご案内し、楽しい雰囲気作りに努めるとともに、口から食べていただけるように支援いたします。
2. 洗面は、洗面所で朝と夕方に行っていただきます。
肺炎予防や口の中を清潔を保つために、口腔ケアは毎食後行います。
3. 排泄は、出来る限りトイレで行っていただき、おむつの使用を最小限にするよう努めています。
4. 入浴は、身体を清潔に保つため、週2回以上行います。
5. 朝起きたらパジャマから私服へ着替え、ご自宅での生活と同じように普段着で過ごしていただきます。
6. 日中はレクリエーションや集団リハビリに参加いただき、出来る限りベッドから離れて過ごしていただくよう努めています。
7. 多職種が個々の患者さんに接する時間を多くし見守りながら、可能な限り抑制はせず、転倒や誤嚥等の事故防止に努めています。
8. 介護に対するご家族の不安を少なくするため、それぞれの患者さんに必要な介護指導を行います。



HITO 病院 回復期リハビリテーション病棟の 5つの特徴

1

多職種からなるチームアプローチで 早期の在宅・社会復帰を目指す！



医師、看護師、リハビリスタッフ、介護士、薬剤師、栄養士、歯科衛生士、ソーシャルワーカーなどの多職種が密に連携し、患者さんの情報を共有しています。患者さんを1日でも早く、いつもの生活へ送り出すことを目指しています。

2

季節を感じる工夫がいっぱい！

回リハ病棟では、七夕やクリスマスの時期にイベントを行っています。付属保育所に通う子どもたちの踊りや、スタッフによる演奏会、時には患者さんが歌を披露してくれることもあります。また、年中行事に合わせたイベント食を提供。長期入院中でも、季節を感じられるよう工夫しています。



3

自宅での生活を見据えた実践的な訓練や 最先端のロボットリハビリ*などを 365日体制で提供！



365日の個別リハビリ以外にも、次のような取り組みを行っています。

【集団リハビリ】

月に1回程度、集団で様々な活動を計画し実施しています。書道や鉢植え作業などを通して、楽しく体を動かす喜びを感じていただきます。



【協働リハビリ】

個別リハで身体機能が改善しても、日常生活に活かすことはなかなか難しいものです。当院では個別リハに加え、排泄や歩行などの病棟生活にもリハビリスタッフが介入し、多職種と協働して患者さんの生活能力を引き出すための指導や情報共有を行っています。

【ロボットリハビリ】

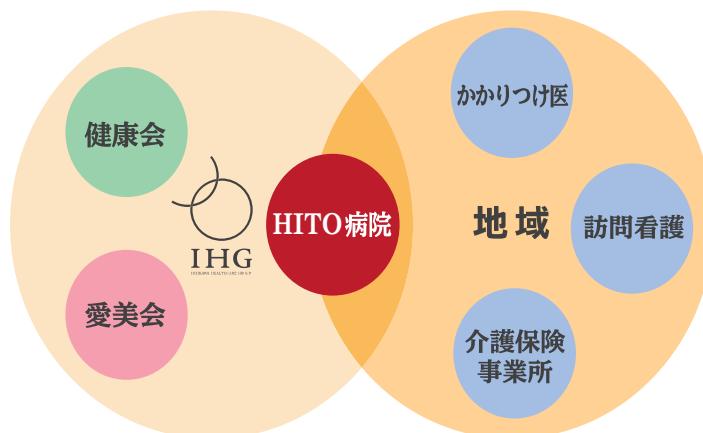
装着者の意思に従って動作をアシストするロボットスーツHAL®(Hybrid Assistive Limb®)によるリハビリを実施しています。立ち座りや歩行の感覚を取り戻し、寝たきりを防ぐためにも、新しいリハビリを提供しています。



4

IHG(石川ヘルスケアグループ)と 地域連携で、退院後の不安を解消！

退院後も自宅での生活が不安な場合は、グループ法人「医療法人健康会」の通所リハビリや訪問リハビリなどのサービスや、「社会福祉法人 愛美会」の各種施設等をご利用いただけます。回復期リハビリ病棟専従の社会福祉士が、患者さんやご家族と相談しながら退院先調整をしていきます。またIHG以外にも地域の医療機関・福祉施設と連携することで、退院後も住み慣れたご自宅で、あるいはその近くで安心して暮らせるようサポートいたします。かかりつけ医やお知り合いのケアマネージャーがいらっしゃる場合は、スタッフまで遠慮なくお知らせください。



5

退院後、専門職が自宅を訪問し フォローアップ！

歩行、嚥下(飲み込み)や栄養管理、お薬の管理等、入院中にはできていたことでも、退院後患者さん自身やご家族ではなかなかままならず、再び状態が悪化し入退院を繰り返すということもあります。当院では上記のような点で入院中特に注意を要した患者さんに対して、退院後2週間以内をめやすに専門職がご自宅を訪問し、入院中の注意点が維持できているか、またその他困っていることはないかなどを確認し、アドバイス等を行っています。

入院から退院までの流れ

入院

医師、看護師、リハビリスタッフ、社会福祉士が定期的にカンファレンスを行い、それぞれの専門的な立場から支援計画を立てて実施します。

ファミリーカンファレンス

医師、看護師、リハビリスタッフ、社会福祉士から患者さんの状況をご説明させていただきます。その際患者さんやご家族の意向を確認することで目標の共有を図り、今後のリハビリ予定や支援計画を立てていきます。



退院に向けてのサービス調整

必要に応じて家屋調査を行い、住宅改修や福祉用具選定のアドバイスの他、患者さんに必要な介護保険・サービスなどの調整を行います。リハビリの状況に応じて外出や外泊を行っていただき在宅生活に慣らしていきます。本人・ご家族へ自宅でのリハビリ・介護の指導を行います。



担当者会議（退院前カンファレンス）

退院後の生活に向けてのアドバイスを行います。在宅サービスを受ける場合は、在宅担当者（ケアマネジャー、訪問看護スタッフなど）にも参加していただき、病院からの指導・注意点などの申し送りを行います。

退院

退院後も在宅生活に課題や懸念事項が残る患者さんについては、退院後訪問を行います。

患者さんの

1日の過ごし方（例）

7:00 起床・洗面
パジャマから私服へ更衣

8:00 デイルームでの朝食
お薬・口腔ケア

9:00 回診・検温・処置・点滴

10:00 リハビリ
レクリエーション

12:00 デイルームでの昼食
口腔ケア

13:00 個別リハビリ

14:00 面会時間開始
集団リハビリ

16:00 入浴
私服からパジャマへ更衣

18:00 デイルームでの食事
口腔ケア

19:00 面会時間終了
就寝準備

21:00 消灯・就寝

回復期リハビリテーション病棟について

●準備物について

- ・運動靴または介護靴
(スリッパは転倒の危険があります。かかとのある靴をご準備下さい)
- ・普段着、動きやすい服装(トレーニングウェア、ジャージなど)
パジャマ、下着類、タオル
- ・バスタオル、ティッシュ、洗面用具、歯ブラシセット、うがい用コップ、イヤホン

●入院中の生活について

1. 規則及び医師・看護師の指示

入院中はこのご案内及び、病院の規則、医師・看護師の指示に従ってください。

2. 面会時間 14:00～19:00(曜日問わず)

ご家族のリハビリ見学・介護指導目的の場合は午前中からも可能です。

ご面会の際は、1階総合案内にて面会用紙にご記帳後、病棟までお越しください。

病棟入口自動ドアが施錠されておりますので、自動ドア横インターホンを押してください。

スタッフがご案内いたします。

- ・面会は出来る限り食堂・デイルーム・ラウンジをご利用ください。
 - ・食事制限がある方もいらっしゃいますので、病室での飲食はご遠慮ください。
 - ・1階正面エントランスは18：00に、東エントランスは19：30に施錠いたします。
- 施錠後は、2階(25)救急受付の守衛スタッフまでお声かけください。

3. セキュリティーカード

回復期リハビリテーション病棟には、いろいろな疾患の方が入院されます。患者さんの安全確保のために、当病棟ではセキュリティーカードの貸し出しを行っておりません。病棟への出入りの際は、お手数ですがお声かけをお願いいたします。

※ご家族にもお渡しきれないのでご了承ください。

4. 入浴

- ・医師の指示にて自由に入浴できる患者さん・・・午前10：00～午後20：00
- ・介助浴の患者さん・・・週2回 午前9：00～午後17：00
　　＊男性(火曜・金曜)　　＊女性(水曜・土曜)　　＊特浴(月曜・木曜)

5. 外出・外泊

回復期病棟では患者さんに対し365日のリハビリテーション実施が義務付けられています。
外出・外泊の際にも必ず、最低1日1回リハビリテーションを受けていただきます。

- ・外出・外泊される場合は、必ず所定の届出用紙にご記入の上、看護師までご提出ください。
- ・主治医の許可が下りた時点で、外出・外泊訓練をしていただきます。
- ・外出・外泊からお帰りになられた際は、スタッフにお知らせください。

※無断外出・無断外泊は行わないでください。

6. 散歩・運動など

医師の指示及びリハビリテーション計画に沿って行います。

ご家族のご支援をお願いたします。

7. 退院について

退院に関しては、入院時より目標を立て、回復に合わせて主治医が決定いたします。

原則として、退院時間は10:00でお願いしております。都合の悪い方はスタッフまでご相談ください。

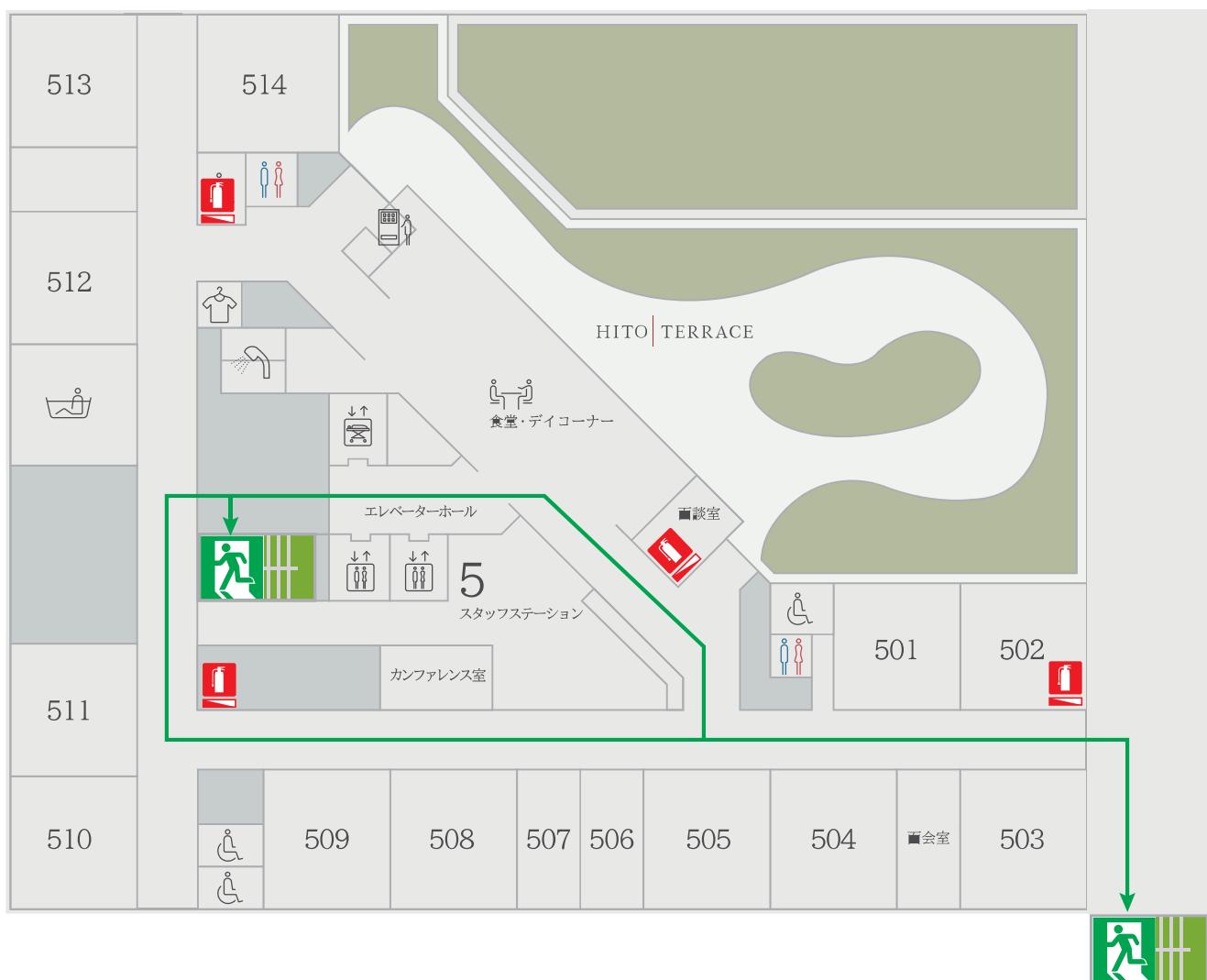
加入保険の関係等による入院期間の延長は出来かねますのでご了承ください。



フロアマップ（避難経路）

この建物の避難階は **1 階**です。
非常の場合は緑矢印の方向へ避難してください。

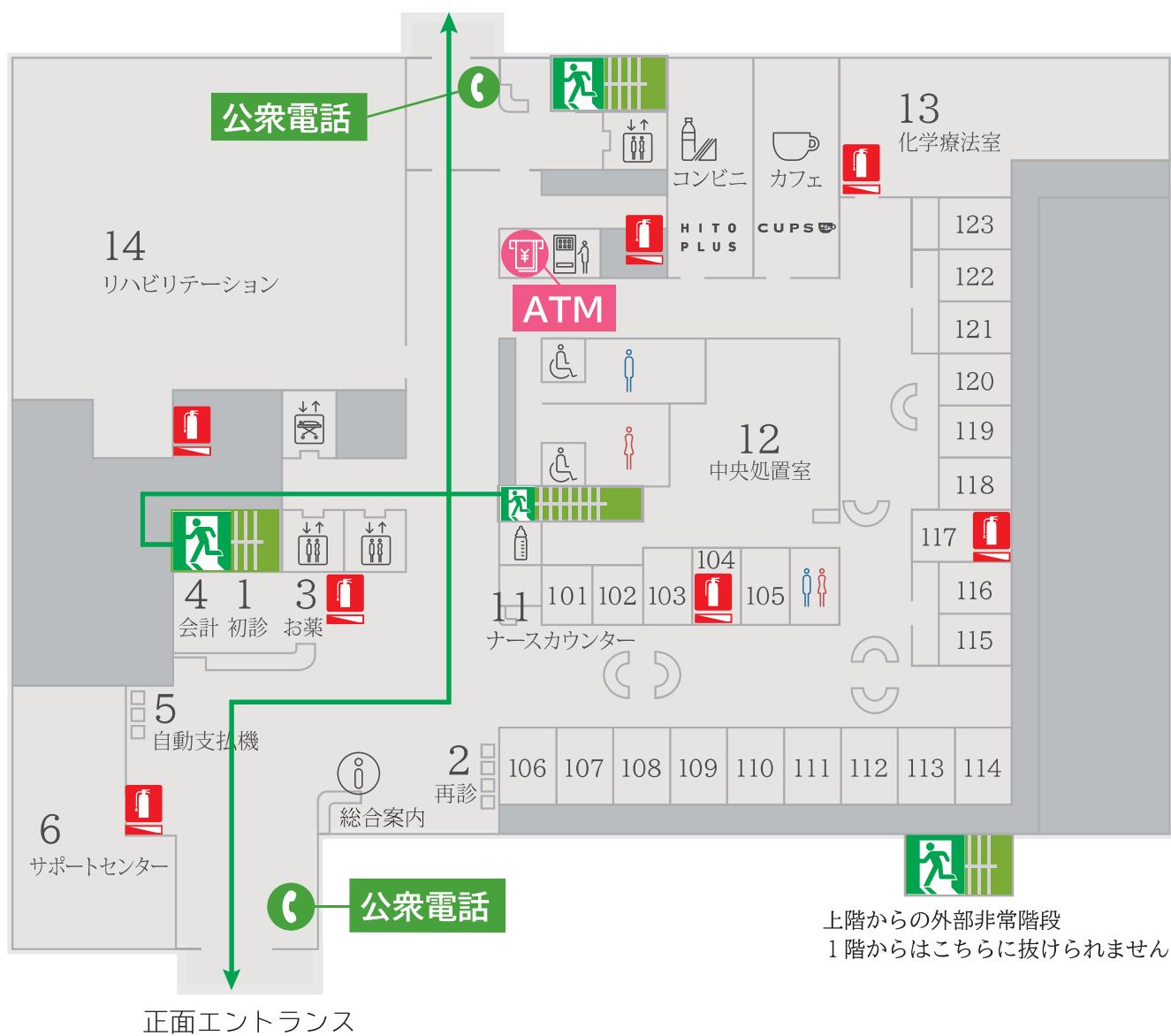
5F



1F

東エントランス時間外入口

- 消火用散水栓
- 消火器
- 避難方向



HMSC (Hito Medical Support Center - サポートセンター)

HMSC(サポートセンター)は、患者さんの病気や治療、入院に関する不明点・疑問点などを、お気軽にご相談いただける窓口です。

患者さんやご家族とともに、また医師や看護師と協力しながら、解決していくためのお手伝いをいたします。相談ブース全6カ所のうち、3カ所は完全個室ですので、プライバシーが守られた環境での個別相談が可能です。

またサポートセンターは、「がん治療・緩和ケアに関する相談」の専門窓口としてもご利用いただけます。

ご不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。

受付時間

月～金 8：30～17：30

木曜午後休診日 8：30～12：30

第1・3・5土曜日 8：30～12：30

電話：0896-29-5320